

# 燃料油タンクの保護距離に関する事項

## 改正要領

海洋汚染防止のための構造及び設備規則検査要領

## 改正事項

燃料油タンクの保護距離に関する事項

## 改正理由

MARPOL 条約附属書 I 第 12A 規則の燃料油タンクの保護に関わる配置要件において、スケグを有する船舶及び船長方向に船底傾斜を有する船舶に対する船底外板から燃料油タンクまでの距離に関する取扱いが明確でなかったことから、IACS において問題提起があった。

このため IACS は、2008 年 7 月に上記のような構造に対する燃料油タンクの保護距離の測り方を明確化すべく統一解釈 MPC94 を採択した。

今般、IACS 統一解釈 MPC94 に基づき、関連規定を改めた。

## 改正内容

- (1) 船底外板から燃料油タンクまでの保護距離について、船底外板の法線方向に測る旨を明記した。
- (2) スケグを有する場合の船底外板から燃料油タンクまでの保護距離について、スケグと船底外板の交点において、基線と平行な線から測る旨を規定した。
- (3) 船長方向に船底傾斜を有する場合の船底外板から燃料油タンクまでの保護距離について、各横断面における船底外板の法線方向に測る旨を規定した。
- (4) 船幅方向に船底勾配を有する場合、船底部と船側部の境界を、船底外板の平坦部から垂直上方に測る旨を規定した。